



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

明日【4月10日（土）】の土曜授業公開、保護者会について

新型コロナウイルスの感染が拡大している東京都を対象として、緊急事態宣言に準じた対策を可能とする「まん延防止等重点措置」が4月12日（月）から適用されることになりました。これを受け、本校では感染拡大予防の観点から、**明日【4月10日（土）】に予定している土曜授業公開について、保護者の方への公開を中止**することにしました。なお、生徒は予定どおり登校し、2時間の授業後に下校となります。

また、第1回保護者会については、保護者の方の参加を各ご家庭1名とし、生徒下校と入れ替わりに各教室にお入りいただき、校長及び学年主任からの話をオンラインで行うことで「3密」を避け、実施することにしました。**保護者の開始は、午前11時を予定しています。大変恐縮ですが、極力生徒下校との重複を避けるため、保護者の方の来校時刻を10時45分以降とさせていただきます**ので、ご協力をお願い申し上げます。

詳しくは、本日配布した保護者通知及びホームページの通知をご参照ください。

今後の教育活動の方向性について

文京区教育委員会は、4月6日付で「今後の教育活動について」、また4月7日付で「令和3年度の宿泊を伴う活動について」という通知を発出し、感染症対策の具体的な方針を示しました。本校においても、この内容にしたがって今年度の教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、の中には「学年を越えた活動は原則として避ける」と示されていますが、部活動や委員会活動など、詳細が具体的に示されているものについては、それにしがたい学年合同で活動を行っても良いことを確認しました。

以下に「文京区版学校感染症対策ガイドライン（令和2年12月16日改訂）」の抜粋版及び前述の二つの通知の内容（文中の□囲み内の記述）、加えて**本校独自の対応**をお示ししますので、よろしくお願い申し上げます。

1 基本方針

「文京区版学校感染症対策ガイドライン（令和2年12月16日改訂）」に基づき、感染症対策を徹底する。

※ ガイドラインの詳細については、文京区教育委員会ホームページをご参照ください。

<<https://www.city.bunkyo.lg.jp/var/rev0/0212/4495/guideline20201216.pdf>>

2 感染症対策の具体的な方策について

マスクの着用や3つの密の回避などの感染症対策を徹底し、実施することを基本とする。

- ・ 登校から下校まで、食事や運動時、十分な身体的距離が確保できる場合、熱中症などの健康被害が予想される場合、その他事情のある場合を除いて、必ずマスクを鼻と口を覆って着用する。
- ・ 毎日自宅で検温し、検温票に記入して登校時に提出する。また、登校時には玄関でサーモグラフィーによる検温を行う。
- ・ 発熱等の風邪の症状や腹痛、下痢等が見られる場合は、無理をせずに自宅で休養する。この場合の出欠の取扱いは、「欠席」とせずに「出席停止」とする。
- ・ 登校時や給食前後、トイレ使用後やその他の活動の後など、手洗いや手指消毒を励行する。
- ・ 身体的距離の確保に留意する。教室では、机と机の間を1m以上確保する。
- ・ 飲み水については、家庭から水筒を持参する。水筒に水を補給する際には水道、冷水器を使用してもよい。
- ・ 適切な箇所に石けんやアルコールを含んだ手指消毒薬を設置し、手指の衛生を保てる環境を整備する。
- ・ 換気は、天候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うこと。**【六中】常時、窓を開けるとともに、空調機器を稼働させます。**
- ・ 教職員が、特に多くの生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）について1日1回以上消毒液を使用して清掃を行い、環境衛生を良好に保つ。

3 教育活動上の留意点

- ・ 学校全体への感染症の拡大を防止するため、学年を越えた活動は原則として避ける。

○ 学年を越えた活動は原則避け、オンライン等の活用を検討する。

- ・ 全校朝会、各種集会等は、十分な換気を行い、児童・生徒間の間隔を確保して実施する。
- ・ 各教科等の指導において、グループや少人数による話し合い活動等を行う場合は、マスクを着用するとともに、衝立の使用や距離の確保、回数や時間の限定等の工夫を行うとともに、グループの人数に配慮して実施する。なお、飛沫感染の可能性が高く、可能な限り感染症対策を講じても生徒の安全を確保することができない場合は、実施を控える。

○ 音楽における歌唱の際は、マスクを着用することを原則とする。

【六中】マスク、フェイスシールドを着用して6階追分ホールで行い、可能な限り距離を確保します。

○ 音楽において管楽器（リコーダー等）を演奏する際は、1m以上の距離を確保し飛沫感染を防止する。

【六中】7階プール室で行い、2m以上の距離を確保します。

○ 調理実習については、感染リスクが高いため、当面の間は実施しない。

- ・ 給食は、生徒が対面して喫食する形態を避け、会話を控えるようにする。
- ・ 委員会活動は、活動内容を精選し、短時間又は少ない回数で行えるようにする。
- ・ 咳エチケットで出たごみ（鼻をかんだティッシュ等）を捨てる専用のごみ箱を準備する。
- ・ 清掃活動は、十分な換気を行った上でマスクを着用して行き、終了後に必ず流水と石けんなどを使用して手洗いをを行うようにする。
- ・ 保護者会等は、メールや文書等を活用し、集まらずにできる方法を工夫する。実施する場合は、あらかじめ当日説明する内容を文書等で保護者や関係者等に伝え、短時間で開催する。なお、開催する場合は、会場当たりの参加人数に配慮し、座席の間隔を空け、十分な換気を行うなど、「3つの密」を避けるようにする。

4 遠足等の日帰りの校外学習

○ 保護者の理解、協力が得られないものは、延期又は中止とする。

○ 公共交通機関の利用は、原則避けること。学校の判断により、やむを得ず公共交通機関を利用して実施をする場合は、以下の対策を徹底する。

- ・ 通学・通勤のラッシュ時の利用は避け、乗車時間は1時間程度とする（午前10時から午後4時を利用可能な時間帯とする）。
- ・ 5～6人程度のグループとし、1つの車両に多くのグループが乗車することのないようにする。その際、密な状態にならないように工夫する。
- ・ 乗車の際は、マスクを着用させるとともに、会話については必要最小限とし、不必要な会話は控えるように指導する。

【六中】本日、2年次から二度延期になった3年生の校外学習を実施します。この項目に「昼食は、班ごとに『感染症対策徹底宣言』ステッカーのある店舗で『3密』にならないことを確認した上で食べるようにする」「公共交通機関の利用は、10時から16時の間で、1回につき1時間以内とする」の2項目を加え、感染症対策の徹底を図ります。

5 宿泊を伴う活動について

○ 修学旅行及び移動教室については、感染症対策を徹底した上で現在予定している日程で実施する。ただし、緊急事態宣言もしくは、まん延防止等重点措置が都内もしくは宿泊先の府県で発令されることが決定された場合は、延期とする。延期することが難しい場合は中止とする。

○ 防災宿泊体験については、中止とする。児童・生徒が、防災に関する知識等を体験的に学べるよう宿泊を伴わない活動として実施する。**【六中】4月28日（水）・29日（木）に予定していた2年生の防災宿泊体験については、28日（水）のみの活動として宿泊を中止します。**

6 部活動について

部活動は、適切な感染症対策を行った上で実施する。なお、飛沫感染の可能性が高く、常時、身体接触を伴う活動において可能な限りの感染症対策を講じても生徒の安全を確保することができない場合は、実施を控える。

- ・ 生徒の体力や健康等の状況を踏まえ、安全を最優先して、個人の活動から、ペアでの活動やグループ・パート別の活動、チームでのゲーム等・全体練習へと段階的に再開する。なお、生徒の安全を確保することができないと判断する場合は、実施を控える。
- ・ 23区外への練習試合や合同練習等は行わないが、中学校体育連盟等が主催する大会などに参加する場合はその要項に従い、感染対策を十分に講じて参加するようにする。

入学式〔4月7日（水）〕／校長式辞

すがすがしい春の風が穏やかに木々を渡り、新緑がまばゆく目に映る今日の佳き日に、晴れて文京区立第六中学校の一員となった87名の新入生の皆さん。ご入学、誠にありがとうございます。皆さんは、いよいよ今日から六中生の一員として新たな生活がスタートいたします。先輩である2・3年生の皆さんも、教室でオンラインの映像を見ながら後輩となった新入生の皆さんのご入学を心から祝福していることでしょう。

さて、皆さんが生きていくこれからの世の中は、グローバル化や情報化、機械化、自動化などがより一層進み、複雑でなおかつ変化が激しく、いつ何が起ころか誰にも分からない時代を迎えることが予想されています。また、幾多の課題を解決していくためには、個々の力を結集し、常に現状分析をしながら改善、工夫を重ねていくことが求められるとも言われています。このような社会においては、様々な文化や個性をもつ人たちが、従来から存在する垣根を越えて支え合い、様々な多様性を認め合いながら互いの良さを融合させて高め合い、新たな価値を生み出していくことが求められます。本校での3年間の生活を通して、それぞれの個性を尊重しながら、これからの時代に生きて働く「協力・信頼・団結」の精神を培ってほしいと考えています。

あわせて、これらの営みを通じて培われた「互いを尊重する」という姿勢は、「共に生きる」という共生社会の実現に向けて、非常に重要な力になるとらえています。皆さんも、常にやさしさと思いやりの心を持ち、互いの個性を尊重することができる仲間づくりにも力を注いでほしいと願っています。

本校では、一人一人が安心して力を発揮できる環境づくりのもと、学習はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動、部活動などでみんなが努力し、みんなでそれを認め、支え合い、高め合っていくことで共に成長していく「集団の学び」を重視した学校づくりを推進しています。

また、3年生が学校全体をリードし、2年生がそれを支え、1年生もそれにならって全力を尽くしていく中で、生徒自身の手でより良いものを創り上げていこうとする「よき伝統」が脈々と受け継がれています。

感染症の影響拡大により制限や制約の多い生活を余儀なくされ、皆さんの中にも不安を感じている人がいると思います。しかしながら、学校における集団生活だからこそ、仲間がいるからこそ身に付けられる力が皆さんの将来に役立つ力となると信じています。身体的な距離は取っても、仲間との心の距離は、近くありたいものです。

自主自立、そして自主創造という理想の実現に向け、87名の仲間、そして優しく頼りになる先輩と共に、日々、充実した生活を送りながら、心をついに一つにして、共に歩いていくことを期待しています。教職員一同、全力で応援いたします。困り事や悩みのあるときには、遠慮なく相談してください。

結びに、私たち教職員は、今日の厳しい社会情勢を乗り越えていくために、保護者の皆様と手を携えながら未来の社会の創り手となる子どもたちの3年間の「学び」と「育ち」に責任をもって全力で向き合っていきたいと存じます。改めて保護者の皆様に本校の教育活動へのご理解とご協力を心からお願いを申し上げまして、式辞といたします。

入学式／入学の言葉 新入生代表 前田 恵那 さん（1A）

私たちは、桜の開花とさわやかな風に見送られ、小学校を卒業しました。そして、今日4月7日、文京区立第六中学校の生徒として大きな希望を抱き、入学式を迎えました。

昨年度から続いているコロナ禍により、私たちの生活には多くの制約があります。しかし、無事に入学できたこと、これから新しい中学校生活が始まることに幸せを感じています。

学習面では、中学校に入ると小学校とは学習の仕方が異なり、問題も難しくなります。その中で私は、数学と英語に力を入れたいです。数学ではケアレスミスをなるべく減らし、復習をきちんと行い、難しい問題も正確かつ速く解けるように努力します。英語では、将来外国の人ともコミュニケーションがとれるように基本からしっかりと学びたいです。

部活動では、新たに挑戦してみたいと思ったことや、今まで頑張ってきたこと、自分の好きなこと、得意なことなどをどんどん追求していきたいです。戸惑ったり、不安になったりすることもあると思いますが、先輩方や先生方に積極的に質問し、学んでいきたいです。

新しい学校生活が始まるということで、私は新しい出会いを大切にしていきたいです。新しい出会いには、自分と似ている考えをもつ人や、自分と違う考えをもつ人もいると思います。私は、このどちらの出会いも大切だと思います。自分と似ている考えをもっている人とは共感し、友情を深め、自分と違う考えの人とは、その違う考えにも興味をもち、自分の考えを深め、視野を広げていきたいです。

私たち新入生は、コロナ禍の中で新しい中学校生活をスタートさせます。これから慣れないことも多くあると思いますが、この伝統と歴史ある第六中学校の生徒として、誇りをもち、中学校生活を有意義なものとし、さらなる発展のために力を尽くすことを誓い入学の言葉といたします。

入学式／歓迎の言葉

在校生代表 坂西 一真 さん（3C） 加藤 健輔 さん（3A） 飯田 悠有 さん（3B）

<坂西さん> 一日一日と暖かくなり始め、春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。今日、新たな一歩を踏み出す新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、第六中学校へ。在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。新入生の皆さんは、新しい学校生活への希望や不安など様々な思いをもち、今日を迎えたのではないのでしょうか。

一昨年の入学式、私たちも未知の世界へ飛び込むような不安と緊張を抱いていました。知らない友達や先輩に出会い、どう過ごせば良いか分かりませんでした。ですが、今は第六中学校の仲間と共にたくさんの壁を乗り越え、楽しく充実した学校生活を送っています。皆さんもすぐに第六中学校の仲間として、私たちと共に楽しく充実した学校生活を送ることができるようになります。

<加藤さん> 今日、皆さんに第六中学校の楽しい行事について紹介させていただきます。第六中学校には、三大大行事と呼ばれている行事があります。

一つ目は、5月に行われる運動会です。最大の見どころは、全校生徒で踊る六中ソーランです。全校生徒が揃いの青い法被を着て、気合いの入った声を出し、キレよく踊る姿はとても躍動感があり、六中生の団結力を高めることができます。

二つ目は、10月に行われる学習発表会です。合唱コンクールでは例年、課題曲と自由曲の2曲を歌います。各クラスが最優秀賞を目指し、実行委員中心に練習に取り組みます。勇気を出して大きな声を出す努力を重ねることでクラスの絆が深まります。本番では、全員の気持ちが一つになった美しいハーモニーが会場全体に響きわたります。

最後は、1月に行われる百人一首大会です。自分のチーム、そして自分のクラスが勝てるように、一人一人が工夫を重ねながら札を覚える練習に真剣に取り組みます。本番での、札を取り合う場面はとても迫力があり、冬のアリーナが熱気に包まれます。

第六中学校の行事は、三大大行事以外にもたくさんあり、どれも印象に残りとてもやりがいがあります。行事には積極的に取り組み、協力して良い思い出をたくさんつくってください。

<坂西さん> また、第六中学校では様々な形で授業が行われています。例えば、日常的にパソコンを活用して調べ学習をしたり、電子黒板で意見を共有したりする授業を行います。そして第六中学校では、総合的な学習の時間にも力を入れています。例年、校外学習として、1年生は長野県の八ヶ岳へ。2年生は鎌倉。そして3年生では、京都・奈良へ行っていますが、事前と事後に、その地域についての学習に取り組みます。ただ、知るのではなくお互いに学びを深めるため、発表などを通し、生徒同士での理解を深める活動を行っています。

<飯田さん> 私は、第六中学校に入学してとても大切なことを学びました。それは「仲間の大切さ」です。私は、第六中学校に入り、多くの仲間を得ることができました。学級活動、生徒会活動、部活動では、共に励まし合い、支え合うことで、人間的に大きく成長することができました。この第六中学校は、そんな仲間とのつながりをつくれる環境にあります。共に楽しい3年間を送るために、自分から勇気を出して周りの人に話し掛けてみてください。きっとその人と仲良くなれるはずです。また、何事にも全力で取り組んでください。仲間との絆をさらに深めることができるはずです。私たち先輩も、最初は自分に仲間ができるか不安でした。ですが、周りの人と関わり、努力をすることで、かけがえのない仲間を作ってきました。1年生の皆さん、そんな大切な仲間をたくさん作ってください。

<坂西さん> 皆さんは、今日、小学生から中学生へと大きな一歩を踏み出しました。まだ、新しい生活に不安を感じている人も多いかもしれませんが。そんな時は是非私たち先輩を頼ってください。私たちは、いつでも皆さんのことを応援しています。

改めて、新入生の皆さんに心からお祝いを申し上げ、歓迎の言葉といたします。

